

JAL エンジニアリングの求める人財像

① まごころをもって、ひたむきに努力を積み重ねる誠実な人財

航空整備は、お客さまの命をお預かりする尊い仕事である。その精神性を理解し、責任の重さを強く感じ、ひたむきに努力を積み重ね、知識や技術を磨き続けることができる人財。

② 「現地」「現物」を大切にし、本質を見極められる人財

航空機のシステム、整備方式がいかに高度化しようとも、機体やエンジンそのものが発する振動・音・熱・臭い・色など五感を研ぎ澄ませて不具合を感じとる必要がある。「現地」「現物」の大切さを理解し、本質を見極めることができる人財。

③ 世界一の航空機品質を目指し、果敢に挑戦する人財

我々が目指すのは「世界一」の航空機品質である。技術の粋を集めた航空機のシステムを日々学ぶと共に、最先端のテクノロジーを駆使し、「世界一」を目指し常に新しい事に果敢に挑戦できる人財。

④ 安全に対する強い思いと採算意識をあわせ持てる人財

安全なくして経営は成立しない。同時に、採算なくして安全は成立しない。整備のプロとして、会社経営の両輪である「安全」と「採算」を両立させる意識をもって、自ら考え行動できる人財。

⑤ 仲間や家族を大切にし、すべてに思いやりを持てる人財

「すべて」とは、お客さまをはじめとし、航空機・仲間・社会等我々を取りまくあらゆるものことである。お客さまを思いやる、航空機を思いやる、共に働く仲間を思いやる、そして社会への貢献を果たすことのできる優れた品格と豊かな人間性を兼ね備えた人財。